

協議会概要

令和6年度第3回海陽町地域公共交通活性化協議会

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(報告事項)

- (1) 第2回海陽町地域公共交通活性化協議会における書面審議の結果について
- (2) 令和6年度海陽町地域公共交通活性化協議会収支決算報告（見込み）について

(協議事項)

- (3) 海陽町地域公共交通計画（最終案）について

(承認事項)

- (4) 令和7年度海陽町地域公共交通活性化協議会事業計画（案）及び収支予算（案）について

4 その他

5 閉会



議 事 要 旨

1 開会

- ・事務局（海陽町 住民環境課 中内課長）の司会により開会（14時）
- ・配布資料の確認（配布資料は以下の8点）
 - ・協議会次第
 - ・配席図
 - ・【資料1】第2回海陽町地域公共交通活性化協議会における書面審議結果について
 - ・【資料2】令和6年度海陽町地域公共交通活性化協議会収支決算書（見込み）について
 - ・【資料3】令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
 - ・【資料4】令和7年度海陽町地域公共交通活性化協議会スケジュール（案）
 - ・【資料A】海陽町地域公共交通計画（第2稿）
 - ・【追加資料1】素案（2025年1月24日）と第1稿（2025年2月14日版）との変更点
第1稿（回覧資料）と第2稿（2025年3月24日版）との変更点

・開会

- ・代理出席者とweb参加者は以下のとおり。
- ・代理出席者
牟岐警察署 地域交通課長 泉和利委員
代理出席：瀬尾孝之委員代理
- ・Web参加者
四国運輸局徳島運輸支局 総務・企画観光担当 首席運輸企画専門員 山崎良太委員
徳島県生活環境部 交通政策課係長 山田知成委員
- ・本日の協議会は委員16名が出席し、会議設立要件の過半数を満たしていることが報告された。

2 会長挨拶

- ・海陽町 横会長より挨拶（内容は以下のとおり）

皆さま、こんにちは。皆さまにおかれましては、年度末何かと大変御多忙のところ、本日お集まりいただきまして誠にありがとうございます。また、日頃は、海陽町の公共交通に関しましてご理解ご協力を賜り重ねてお礼申し上げます。

さて、町営バス久尾線の穴喰デマンド型実証運行開始から約1カ月が経過しました。こちらの状況について少しご報告させていただきます。3月21日現在で利用登録者数が56名、予約数が37件、乗車数が36件、利用便数が50便となっている状況でございます。今まで大きなトラブルはなく、利用者のご意見として「家の前まで来てくれるので助かる」といった声をいただく一方で、「帰りの時間が用事により左右されるため、事前予約がしづらい」という声もいただいているところでございます。今後、当日の予約受付を検討することとしておりますので、よろしく願いいたします。

さて、活性化協議会ですが、冒頭事務局長より説明がありましたとおり、設立会議を1月24日に開催して、海陽町地域公共交通計画の素案についてご協議いただき、2回目の協議会では書面にて本計画のご意見、ご承認をいただいたところでございます。本日は、修正した最終の計画案をご提示させていただきますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

策定した海陽町地域公共交通計画に基づき、海陽町にとって、最適な公共交通システムを構築できるよう進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

3 議事

【報告事項】

(1) 第2回海陽町地域公共交通活性化協議会における書面審議の結果について

事務局 ※資料1「第2回海陽町地域公共交通活性化協議会における書面審議結果について」の説明(略)

横会長 ・事務局からの報告に対し、何かご質問やご意義はあるか。

委員一同 (特に意見なし)

(2) 令和6年度海陽町地域公共交通活性化協議会収支決算報告(見込み)について

事務局 ※令和7年度本協議会の開催を、8月29日までとなっており、宍喰地区デマンド実証運行の実績と併せて報告したく、8月頃の開催を予定している。そのため、本日は先に見込みの報告をさせていただく。

資料2「令和6年度海陽町地域公共交通活性化協議会 収支決算書(見込み)」の説明(略)

横会長 ・事務局からの報告に対し、何かご質問やご意義はあるか。

委員一同 (特に意見なし)

【協議事項】

(3) 海陽町地域公共交通計画(最終案)について

事務局 ※事務局より資料A「海陽町地域公共交通計画(第2稿)」及び追加資料1「素案(2025年1月24日版)と第1稿(2025年2月14日版)との変更点」「第1稿(回覧資料)と第2稿(2025年3月24日版)との変更点」について説明(略)

(○前回までの変更点と●重要なポイント)

・P.2: 目次

○第2稿から、下部に『引用地図について: 本資料掲載の地図は国土地理院の地理院地図を利用しています。』を追加した。

・P.3からP.5: はじめに

○第1稿から内容に変更はないが、構成を整えた。

・P.6からP.7: 上位計画の整理

○『③近隣自治体の交通計画』について、素案では各近隣自治体の交通に関わる計画を記載していたが、海陽町に関係した内容ではないため第1稿から削除した。

・P.8からP.21: 現状

●『②人口・世帯分布』の「国勢調査」の図から、2020年の人口は8,300人、高齢化率は46.6%であり、現在策定している本計画の期間の最終年である2030年には人口は6,600人、高齢化率は52.1%の予測となっている。図から見てのとおり、人口は減少するが、高齢化率が上がる将来、この公共交通計画は、期間を5年間としており、しっかりと地域毎の移動手段を考えていくという骨子となっている。

○『③流入出・昼夜人口』について、素案では「図: 夜間人口(住民)内訳」を記載していたが、人口移動に関し、「図: 昼夜人口」のみで説明がつくため削除した。

●『⑤交通空白地』について、素案では詳細に明記していなかったが、第1稿から海陽町の定義として『高齢者の方が徒歩5分以内で移動できると想定される距離300m』とすることを記載し、第2稿からは、町営バス、路線バスの停留所または、JR各駅について日中1時間に1便の交通網がない地域も交通空白地をしている旨の記載をした。また、海陽町内を5地区に分け、交通空白である詳細についても追加で記載している。

○地図上に、人口分布や各公共交通の停留所、交通空白についての記載を追加した。

- ・ P.22 から P.29：海陽町の公共交通の現状
 - 『③町民アンケート調査』について、町営バス満足度の記載を追加した。現在の利用の有無を問わない設問となっていたため、一概に全ての利用者の意見を反映したものではないが、アンケート結果として、満足が9%、やや満足が5%という回答となった。
- ・ P.30：公共交通に関する課題
 - 現在の公共交通の課題を明確にするため、第1稿より追加し、課題として『海陽町内全域の移動手段に向けた公共交通サービスの最適化』『公共交通への当事者意識の醸成と利用促進』『海陽町における公共交通の利便性向上に向けた取り組み』の3つに整理した。
- ・ P.31 から P.37：基本方針
 - 第1稿では構成を変更し、『7.2.1 公共ライドシェア』以降を削除した。
 - 『③海陽町ならではの交通手段の最適化』について、第2稿から各目標におけるスケジュールを見直し、優先順位の高い事業から検討及び推進を開始するため2025年度から取り組む事業と順次取り組む事業について、現段階での目標スケジュールを調整した。
 - 『⑥定量・定性的目標』について、第1稿で目標指標を掲げていたが、具体的な数値の明記をしておらず、第2稿で記載している。数値を検討するにあたり、現時点でカバー率の算出が難しいため削除した。
- ・ P.38 から P.41：参考資料
 - 『②海陽町地域公共交通活性化協議会委員名簿』について、第1稿まで「7 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転手が組織する団体」を記載しておりましたが、現在該当する事業者が町内に存在していないため、項目を削除した。

横会長	・海陽町地域公共交通計画（最終案）の説明に対し、何かご質問やご意義はあるか。
大谷委員	・P.13の地図について、交通空白地の地図で囲まれた赤丸に重なって人口の表示があるが、色が変わっているために人口分布がわかりにくい。
事務局	・それぞれに色が重なり見にくくなっているため、点線へ変更する。
事務局長	・本協議会で策定した公共交通計画の今後の流れについて、幅広く住民のご意見を反映するために、海陽町のホームページや役場各庁舎窓口にてパブリックコメントを1週間程度実施する。最終は、国土交通省と総務省にこの計画を送付する。パブリックコメントや国から公共交通計画の内容について趣旨が大きく変わらない程度の指摘があった場合、事務局で修正をし、調整させてもらう。 ・パブリックコメントなどの意見を踏まえた結果の最終計画は、皆さまに送付する。
横会長	・地域公共交通計画案については、回収した意見を踏まえ事務局より調整し、もし大きな変更などがあった場合は急遽協議会を開催させていただく。 ・海陽町地域公共交通計画（最終案）について、承認いただけるか。
委員一同	（異議なし）
横会長	・承認いただいたので、明日より海陽町ホームページまた海陽町役場各庁舎窓口にてパブリックコメントを実施する。

【承認事項】

（4）令和7年度海陽町地域公共交通活性化協議会事業計画（案）及び収支予算（案）について

事務局	※事務局より資料3「令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）」及び資料4「令和7年度海陽町地域公共交通活性化協議会スケジュール（案）」について説明（略）
横会長	・事務局からの説明に対し、何かご意見やご質問はあるか。
委員一同	（特に意見なし）

4 その他

- 事務局長
- ・会長挨拶と重複になるが、現在海陽町では、町営バス久尾線をデマンド型に切り替え実証運行を行っている。バス車両が14人乗りであり、今までの1便あたりの乗車人数からすると乗用車や軽自動車でも補えるため、小型化を検討している。
 - ・実証運行で利用者の方のご意見にもあります、「帰りの便の予定が立たない。」といったお声があることから、現在の予約受付時間を見直し、制限なく当日の予約を受けられるよう検討をしている。ただし、空席があるなど乗車できる条件にある場合に限る。いつからといった切り替えの目途はついていないが、準備ができ次第始められたらと考えている。
 - ・土日・祝日の運行については人員の手配などの都合により、平日のみでお願いします。
 - ・今後、海部・海南地区でも、それぞれの地域に合った運行形態を調査し、車両の小型化や利便性向上に向けて検討していく予定である。ゆくゆくは、キャッシュレス決済やマルチモーダルマース、データの利活用なども展開していければと考えている。
-

- 横会長
- ・現在策定している公共交通計画は5年間の位置付けをしており、現在の海陽町の公共交通システムについての在り方や今後の方向性を見極めて検討していくことが重要である。公共交通については、今までもこれからも課題となるところであり、住民の方や利用者の方のご意見をいただき、1番最善の方法を、これから計画し実証運行しながら決められたらと思っている。
 - ・皆さまのご意見をいただき、また、随時情報共有をさせていただくのでお願いします。
 - ・事務局からの説明に対し、何かご意見やご質問はあるか。
-

委員一同 (特に意見なし)

- 横会長
- ・特に意見がないようなので、以上で本日の議案審議は全て終了する。
- (閉会の挨拶は以下のとおり)
-

- ・本日は、慎重審議いただき誠にありがとうございました。以上をもちまして令和6年度第3回海陽町地域公共交通活性化協議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。
-

5 閉会

- ・横会長の司会により閉会 (14時50分)